

株主通信 Vol.28

2016年3月期 第2四半期 2015.4.1~2015.9.30

INSIGHT & INFORMATION



株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION
証券コード 6467





上半期は計画未達となりましたが、
下半期は挽回に全力を注ぎます。

2016年3月期第2四半期累計期間(2015年4月1日～2015年9月30日。以下、上半期)は、ネットシェイプ事業およびアセンブリ事業の不振により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに計画未達となりました。下半期も同様の傾向が見込まれることから、2015年10月21日付で通期業績予想の下方修正を行っています。

代表取締役社長執行役員

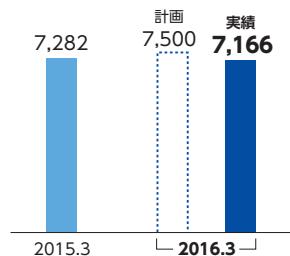
古屋 元伸

第2四半期累計の業績(連結)

*百万円未満は切り捨て

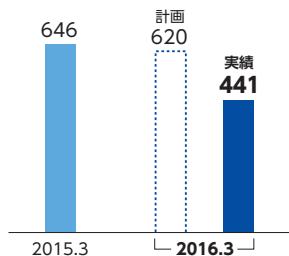
売上高 (百万円)

前期比 **1.6%減** ↓



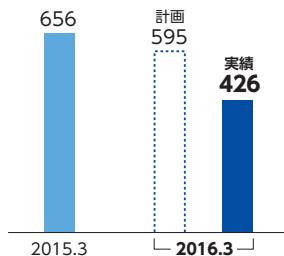
営業利益 (百万円)

前期比 **31.8%減** ↓



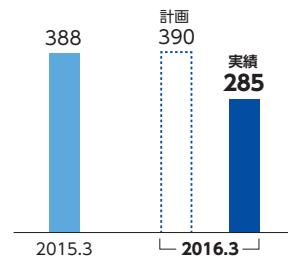
経常利益 (百万円)

前期比 **35.0%減** ↓



親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円)

前期比 **26.5%減** ↓



【見直しに関する注意事項】

当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見直しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見直しとは異なる場合がございます。

Q 上半期の業績について教えてください。

A ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業が不振となり、計画未達となりました。

上半期の当社グループの主要顧客業界である日系自動車産業は、北米地域では全般に販売が好調に推移した一方で、日本国内市場およびASEAN市場では販売不振に陥りました。

このような外部環境の影響を受けて、ネットシェイプ事業の金型部門では、海外向け売上高は増加したものの、国内市場においては需要にばらつきが生じ、第2四半期以降に国内売上高が減少しました。

アッセンブリ事業では海外子会社連結時の為替レート変動に伴う影響により売上高は増加しているものの、生産減をあらかじめ見込んでいたVGターボチャージャー部品の従来機種への減少幅が予定以上の落ち込みとなったことに加え、新規機種の増加数が当初計画に達しなかったことから収益性が悪化しました。

フィルタ事業では、海外向けは減少したものの、国内において大型海水ストレーナーの売上が順調に伸びました。

こうした状況を受けて、上半期は売上高71億6千6百万円

(前年同期比1.6%減)、営業利益4億4千1百万円(前年同期比31.8%減)、経常利益4億2千6百万円(前年同期比35.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億8千5百万円(前年同期比26.5%減)と減収減益となり計画未達に終わりました。

Q 通期の見通しについて教えてください。

A 主にアッセンブリ事業の売上高減が見込まれることから、業績予想を下方修正しました。

当社グループを取り巻く経営環境が流動的になっているなか、下半期の状況は事業ごとに異なると予想しています。(各事業の売上高の状況は、下表「事業別売上高の通期の見通し」を参照)

ネットシェイプ事業では、金型部門において、国内市場にばらつきの見られる状況が依然として続くと予想しています。そのため売上高は当初計画を下回るものの、上半期の停滞状況は脱して徐々に回復基調に転ずると見込んでいます。

アッセンブリ事業では、上半期と同様の傾向が続き、生産減を見込むVGターボチャージャー部品の従来機種への減少分を、新規機種の増加分では埋めきれないため、売上高が当初計画を下回る見込みです。

通期の見通し

(百万円)

	2015.3	2016.3		伸び率
	実績	当初計画 (15年5月発表)	通期予想 (15年10月発表)	
売上高	14,635	15,700	14,400	△1.6%
営業利益	1,269	1,400	920	△27.6%
経常利益	1,311	1,350	890	△32.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	875	890	580	△33.8%

*百万円未満は切り捨て

事業別売上高の通期の見通し

(百万円)

	2015.3	2016.3		伸び率
	実績	当初計画 (15年5月発表)	通期予想 (15年10月発表)	
ネットシェイプ事業	7,894	7,970	7,400	△6.3%
アッセンブリ事業	4,772	5,600	4,850	1.6%
フィルタ事業	1,968	2,130	2,150	9.2%
連結計	14,635	15,700	14,400	△1.6%

*百万円未満は切り捨て

フィルタ事業では、大型海水ストレーナーの売上が引き続き増加すると予想されるため、通期では当初計画以上の売上高を見込んでいます。

このような状況を勘案し、2015年10月21日に、売上高144億円(前年同期比1.6%減)、営業利益9億2千万円(前年同期比27.6%減)、経常利益8億9千万円(前年同期比32.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益5億8千万円(前年同期比33.8%減)と、通期の業績予想を減収減益に修正しました。

Q 中期経営戦略の進捗状況および海外展開や製品開発の状況について教えてください。

A 中期経営戦略のテーマに基づいて製品開発、海外戦略を推進しており、成果が出始めています。

当社グループでは、前期より「海外展開の強化」「新規事業の立ち上げ～量産事業の拡大」「QDC改善による製品競争力の強化」「自動車産業以外の領域拡大」の4つの経営戦略をテーマに掲げ、各事業において関連施策を進めています。今期の通期業績は計画を下回る見込みですが、中期経営戦略の基本的な

方向性に変更はなく、今後も着実に進めていく予定です。

「海外展開の強化」においては、主要顧客業界である日系自動車産業の海外移転に対応して、タイの子会社における生産・販売の強化に努めています。今期は、その成果がネットシェイプ事業の精密鍛造品部門の売上増として表れています。

また、ネットシェイプ事業の金型部門では、中国、韓国などの東アジア地域における拡販を目的とした海外戦略も推進しています。中国、韓国の部品メーカーの中には、生産工程における省資源化や工程短縮を進めるメーカーが出てきており、従来の熱間鍛造から冷間鍛造への移行が始まっています。中国メーカーの技術レベルは現時点ではまだ低いものの、今後のレベルアップが予想されており、国内市場でネットシェイプに関する高い技術を培ってきた当社にとっては、大きなビジネスチャンスが広がっています。こうした状況の変化は、既に金型部門での拡販につながっており、今後も市場開拓に力を入れていきます。

「自動車産業以外の領域拡大」に関しては、フィルタ事業において設備増強のための投資を行っており、今後も堅調な需要が見込まれる大型海水ストレーナー増産に対応する体制を整えました。

製品開発については、ネットシェイプ事業における精密鍛造技術

中期経営戦略 当期の進捗

戦略 1 海外展開の強化



金型部門におけるアジア地域の売上高が伸長



NICHIDAI (THAILAND) LTD. における金型およびスクロール鍛造品の生産が増加

戦略 3 QDC改善による製品競争力の強化



たな卸資産削減等、資産効率性向上を目指した施策の実行

戦略 2 新規事業の立ち上げ～量産事業の拡大



中空工法、ローター部品(厚板成形)等、次世代自動車を念頭に置いた技術開発を推進



触媒を用いた二輪車用排ガスフィルターのユーザー開拓

戦略 4 自動車産業以外の領域拡大



大型海水ストレーナーの生産増

とフィルタ事業で培った拡散接合技術をコア技術として位置づけ、新規用途開拓を進めています。ネットシェイプ事業では、軽量化に貢献する中空工法や、厚板鍛造技術を用いたローター部品、顧客の生産性向上に貢献するクロスジョイント工法など次世代自動車を念頭に置き、先端技術に焦点を絞った技術開発に鋭意取り組んでいます。また、フィルタ事業では、独自の触媒技術を活かした新たな排ガスフィルターを開発しており、二輪車への搭載を目指しています。今期は両事業とも展示会に開発品を出展、顧客から期待を集めています。(詳細はP7「特集」参照)

Q 期末の配当について教えてください。

A 中間期10円、期末10円の年間20円を予定しています。

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策と位置づけ、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続を基本方針としています。

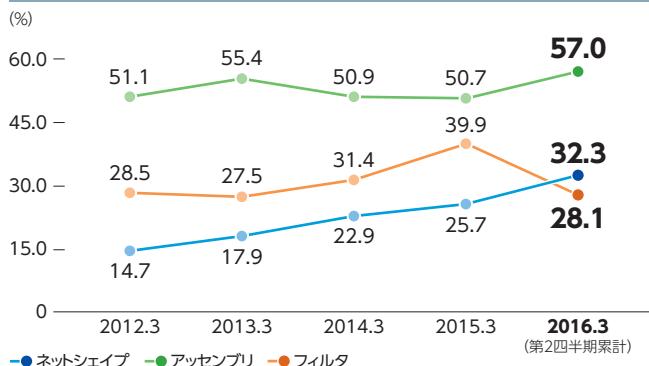
中間配当につきましては、当初予想どおり、10円とさせていただきます。また、期末配当につきましても、当初予想に変わりは



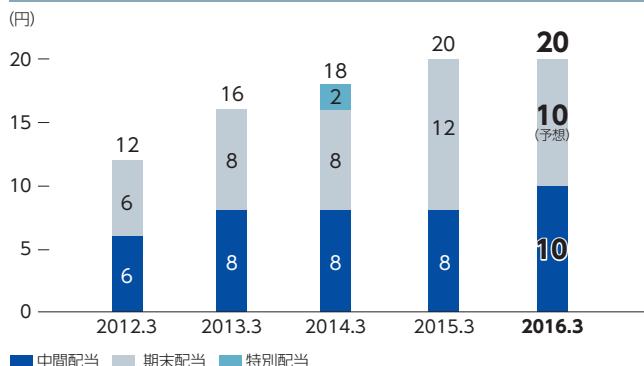
なく、10円とし、年間配当合計20円を予定しています。

現在、中国経済の減速など当社の主要顧客業界である自動車産業を取り巻く環境は不透明感を増しています。当社グループでは、こうした環境変化に柔軟に対応し、経営戦略の諸施策を着実に進めていく所存です。株主の皆さまには、当社グループの現況をご理解賜りますとともに、今後の発展にご期待いただきますようお願い申し上げます。

事業別海外売上高比率



1株当たり配当金



ニチダイグループの事業と業績

事業概要

ネットシェイプ事業

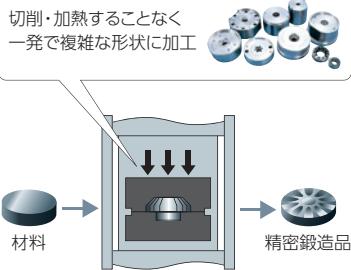
金型

- 金型生産・開発から部品製造までのトータルエンジニアリングを提案・提供

精密鍛造品

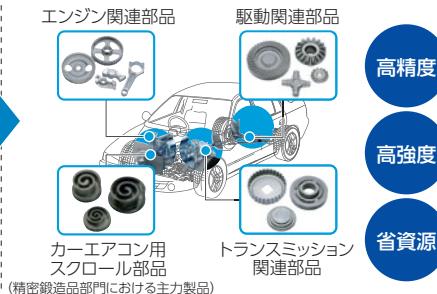
- 金型技術を活かした付加価値の高い部品の提供

ネットシェイプ用の精密鍛造金型を設計・製造



部品メーカー(顧客)が精密鍛造金型を使って自動車用部品を生産

(一部当社でも生産)



主に自動車産業

金型

国内の全自動車メーカー系列企業
海外の自動車部品メーカーとの取引も増加

精密鍛造品

自動車部品メーカー(主製品はスクロール鍛造品)

アセンブリ事業

- 主にディーゼルエンジン車用「VGターボチャージャー」の部品の組み立て

「VGターボチャージャー」の部を組み立て

国内およびタイ工場を組み立て、顧客企業の現地調達ニーズに対応



納入先メーカー(三菱重工業株式会社)でターボチャージャーの一部を組み込まれる



排ガス削減
燃費改善

主に自動車産業

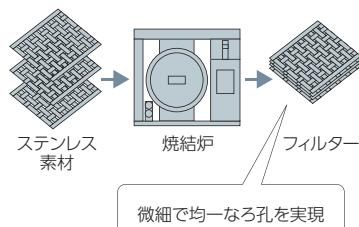
全世界の自動車メーカー(欧州ではディーゼルエンジンのシェアが半数以上)



フィルタ事業

- 何枚ものステンレス金網を一体構造化した積層焼結フィルターの生産
- フィルターの洗浄・再生サービス

独自の「拡散接合」技術を使ってフィルターを製造



顧客メーカーの用途に応じて各種フィルター形状に加工



リサイクル可能
高強度

各種メーカー

石油、ガス、化学、繊維、食品、航空宇宙産業 など

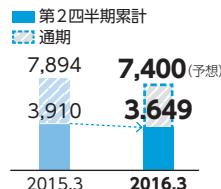


業績

売上高構成比
(2016.3 第2四半期累計)

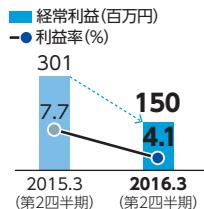


売上高 (百万円)



*百万円未満は切り捨て

経常利益・利益率



上半期の概況

金型部門においては、海外向けの売上高が増加したものの、国内市場にばらつきが生じ国内向けの売上高が減少しました。精密鍛造品部門では、NICHIDAI (THAILAND) LTD.における生産増により、前年とほぼ同水準の売上高で推移しています。これらの結果、売上高は36億4千9百万円(前年同期比6.7%減)となりました。

利益面においては、金型部門の売上高が減少した結果、経常利益1億5千万円(前年同期比50.1%減)となりました。

通期の見通し

金型部門では、下半期では回復傾向に転ずると見込まれるものの、引き続き国内市場におけるばらつきが継続することから、売上高は当初計画を下回る見込みです。その結果、通期の売上高は74億円(前年同期比6.3%減)となる見込みです。

売上高構成比
(2016.3 第2四半期累計)

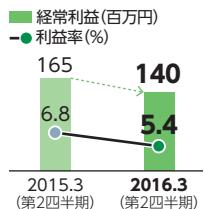


売上高 (百万円)



*百万円未満は切り捨て

経常利益・利益率



上半期の概況

モデルチェンジにより生産減を見込んでいたVGターボチャージャー部品の従来機種種の減少幅が想定以上になったことに加え、新機種の増加が計画を下回ったことから、収益性が悪化しました。海外子会社連結時の為替レート変動に伴う影響により、売上高は26億1百万円(前年同期比6.7%増)と増加しましたが、経常利益は1億4千万円(前年同期比15.4%減)となりました。

通期の見通し

下半期も上半期と同様の傾向が続くことから国内外とも売上高の減少が見込まれます。その結果、アッセンブリ事業の通期の売上高は、当初計画を下回る48億5千万円(前年同期比1.6%増)となる見込みです。

売上高構成比
(2016.3 第2四半期累計)

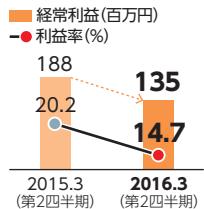


売上高 (百万円)



*百万円未満は切り捨て

経常利益・利益率



上半期の概況

大型海水ストレーナーの売上高が増加しましたが、前年好調であった海外向けの売上高が減少しました。その結果、売上高は9億1千6百万円(前年同期比1.9%減)、経常利益は1億3千5百万円(前年同期比28.4%減)となりました。

通期の見通し

下半期も引き続き大型海水ストレーナーの売上増加が見込まれます。その結果、通期の売上高は当初計画を上回る21億5千万円(前年同期比9.2%増)と、過去最高の売上高となる見込みです。

当社の中核を担うネットシェイプ事業においては今後、次代を見据えた新技術の開発と、海外に向けた既存技術の転用に注力してまいります。

当社の強みと開発の方向性

当社は、精密鍛造金型のトップメーカーとして、国内の自動車産業とともに成長してきました。「コスト削減」や「高精度」、「高強度」を実現するネットシェイプは、ミッションや駆動系の部品生産に採用され、クロスジョイントやスクロール鍛造品など複雑な形状の部品生産にも応用されています。当社は、他工法から独自のネットシェイプへの転換を促すことでマーケットを拡大してきました。

現在、ネットシェイプには、成長著しい

中国や韓国から引き合いが寄せられており、当社は既存技術の深掘りによる海外需要の開拓に努めています。一方国内では、次世代自動車に求められる技術開発に取り組んでいます。その先駆けとなるのが、現在進めている中空工法をはじめとする新技術です。

技術課、開発課、生産技術課からなる総勢30名の技術部では、顧客ニーズに適切に対応するとともに、未来を見据えた開発に全力で取り組んでいます。



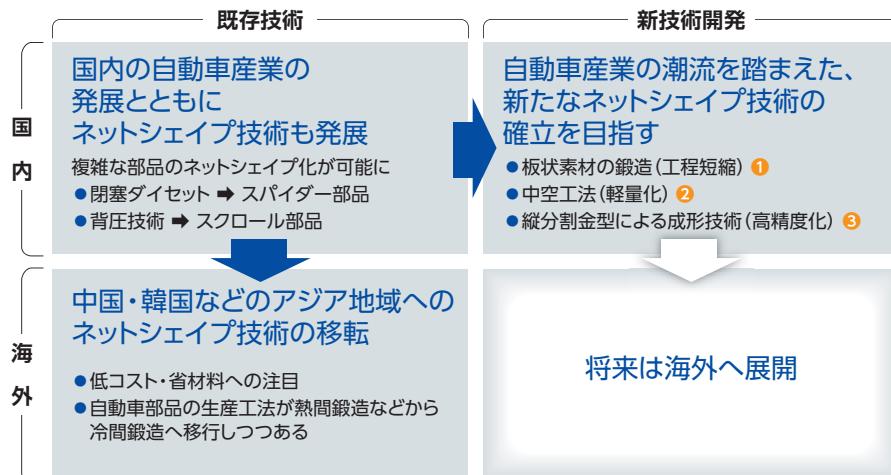
取締役執行役員
生産本部長 兼 技術・開発本部長 畑中 恵二

ネットシェイプ技術の特長

切削加工と比較して

1 コスト削減	使用する金属を 1/2~1/3に削減できる
2 高精度	10μm (100分の1mm) 単位の精密加工が可能
3 高強度	材料繊維が切断されず 高い強度を確保

技術開発の方向性



用途・技術開発の目標と課題

当社の技術開発の方向性は、大きく次の2つがあります。1つは、既存顧客の自動車産業において今後求められる新技術の開発であり、もう1つは、これまで培ってきた技術の他用途への展開です。現在は「厚板鍛造」、「中空工法」、「縦割リクロスジョイント金型」の3つの分野を中心に革新的な技術開発に取り組んでいます。

厚板鍛造は、様々な用途への展開を視野に入れ、顧客と共同開発を進めています。試作品の強度試験では既に合格点

を得ています。現在の課題は量産時のコスト削減であり、工程の短縮化に挑んでいます。①

中空工法は、自動車の省エネ対応に必要な部品の中空化を実現する技術で、ネットシェイプで生産することで材料ロスを削減し、低コスト化に貢献します。②

縦割リクロスジョイント金型は、水平方向から鍛造する画期的な金型であり、既に特許を取得済みです。現在は量産化に向けた金型の長寿命化に挑戦しています。③



技術・開発本部 技術部
部長

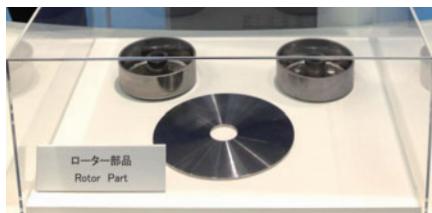
清池 薫

技術・開発本部 技術部
次長

近藤 靖之

開発品紹介 東京ビッグサイト「MF-Tokyo2015 プレス・板金・フォーミング展」に出展

7月15～18日に東京ビッグサイトで開催された国際鍛圧機械見本市に出展しました。本展示会は2009年より、隔年開催されている塑性加工技術に関する展示会です。日本のみならず、アジアの「ものづくり」企業から大きな注目を集めており、当社を含む多くの企業が参加しました。展示会には4日間で約3万人の来場者があり、当社ブースへも予想を上回る大勢の方にお越しいただきました。



① 厚板鍛造

プレス加工では対応できない増肉成形を、ネットシェイプ技術で実現します。



② 中空工法成形品

中空長軸部品の生産を、既存の切削加工からネットシェイプに置き換えた工法です。



③ クロスジョイント

縦割リ金型を使用することで軸部にバリを発生させず、真円度精度を高めた工法です。

2015年8月 ニチダイフィルタのWebサイトをリニューアル

当社のグループ会社であるニチダイフィルタ株式会社(以下、NFC)のWebサイトが新しくなりました。今回のリニューアルでは、より見やすく、より快適にご利用いただけるWebサイトを目指し、デザインをはじめページ構成を全面的に見直しました。

製品・サービス別にアクセスできるよう検索機能を改善したほか、ページ上部にお問い合わせフォームを常時表示させ、求める製品像がはっきりとしている顧客に対しては、詳細情報を入力できるフォーマットを添付するなど、問い合わせ機能を充実させました。**①**

また、NFCのことをよく知らないユーザーに対しては、当社の製品がどういったところで使われているのかをわかりやすく説明するためにイラストを使って紹介し、親近感を持たせる工夫をしました。**②**

さらに、スマートフォンで見た場合、その画面サイズに最適化される仕組みを採用、便利で見やすいサイトとなりました。**③**

今後も内容の充実を図るとともにWebサイトを通して当社の様々な活動情報をお届けし、利用者の皆さまにとってわかりやすいサイトづくりを心がけていきます。



①



ニチダイフィルタWebサイト
<http://www.nichidaifilter.co.jp/>



③



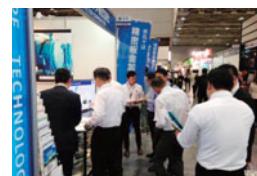
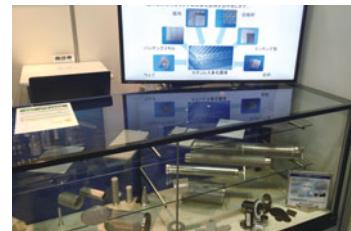
②

2015年10月 機械要素技術展に出展 (インテックス大阪)

10月7～9日にインテックス大阪で開催された第18回関西機械要素技術展に、ニチダイフィルタ株式会社が出展しました。機械要素技術展は、軸受、ベアリング、ねじ、ばねなどの機械要素や、金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めた専門技術展であり、毎年開催されています。

今回は二輪車用の新しい排ガスフィルターも展示しました。これは、触媒により排ガスを浄化するフィルターで、従来のものよりコストパフォーマンスが高い特長を持っていることから、多くの注目を浴びていました。

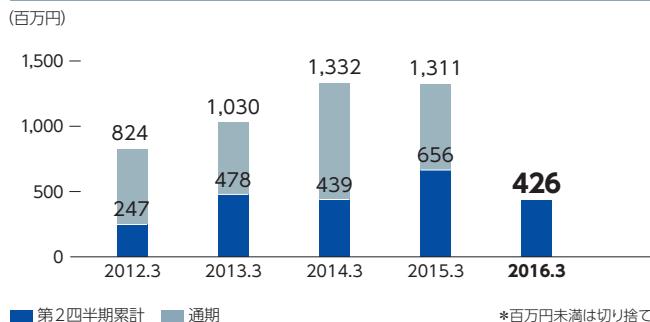
展示会には3日間で約4万2,000人の来場者があり、昨年を大きく上回りました。NFCにおいても、昨年に続いて2回目の出展となりましたが、今回も大勢の方にNFCブースにお立ち寄りいただき、盛況のうちに終えることができました。



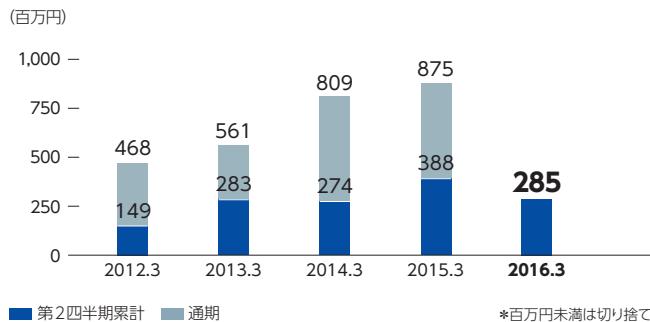
売上高(第2四半期累計)



経常利益(第2四半期累計)



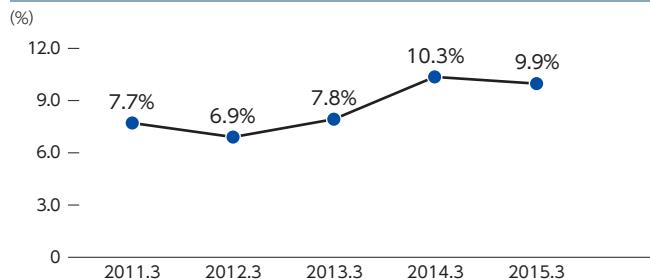
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(第2四半期累計)



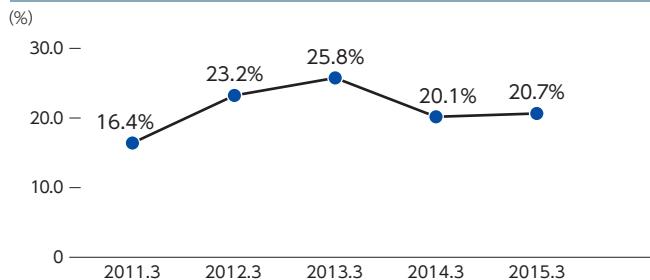
純資産額／自己資本比率



ROE(自己資本利益率)



配当性向(連結)



連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部 科目	前第2四半期 連結会計期間末 2014年 9月30日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2015年 9月30日現在	前連結会計 年度末 2015年 3月31日現在
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	2,140	2,023	2,424
受取手形及び売掛金	3,620	3,511	3,678
たな卸資産	2,180	2,649	2,556
その他	237	197	143
貸倒引当金	△ 4	△ 1	△ 1
流動資産計	8,175	8,380	8,800
固定資産			
① 有形固定資産	6,787	7,202	7,188
無形固定資産	122	103	111
投資その他の資産	231	222	231
固定資産計	7,141	7,528	7,531
資産合計	15,316	15,908	16,331

*百万円未満は切り捨て

Check Point

① 有形固定資産

フィルタ事業における焼結炉増設を含む。

(単位:百万円)

負債及び純資産の部 科目	前第2四半期 連結会計期間末 2014年 9月30日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2015年 9月30日現在	前連結会計 年度末 2015年 3月31日現在
(負債の部)			
流動負債			
買掛金	1,496	1,344	1,622
短期借入金	1,532	1,655	1,897
未払法人税等	89	106	114
賞与引当金	281	275	141
その他	879	649	764
流動負債計	4,279	4,029	4,540
固定負債			
長期借入金	1,088	857	943
退職給付に係る負債	73	—	—
その他	483	455	521
固定負債計	1,645	1,313	1,464
負債合計	5,924	5,343	6,004
(純資産の部)			
資本金	1,429	1,429	1,429
資本剰余金	1,192	1,192	1,192
利益剰余金	6,018	6,572	6,395
為替換算調整勘定	86	421	427
その他	△ 73	△ 12	△ 18
非支配株主持分	737	961	900
純資産合計	9,391	10,565	10,327
負債純資産合計	15,316	15,908	16,331

*百万円未満は切り捨て

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	前連結会計 年度 2014年4月1日から 2015年3月31日まで
売上高	7,282	7,166	14,635
売上原価	5,611	5,693	11,246
売上総利益	1,671	1,473	3,388
販売費及び一般管理費	1,024	1,031	2,118
営業利益	646	441	1,269
② 営業外収益	37	24	94
営業外費用	27	39	53
経常利益	656	426	1,311
特別利益	5	3	5
特別損失	9	2	23
税金等調整前四半期 (当期)純利益	651	427	1,293
法人税、住民税及び 事業税	94	110	217
法人税等調整額	119	△32	113
四半期(当期)純利益	437	349	961
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	48	63	85
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	388	285	875

*百万円未満は切り捨て

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	前連結会計 年度 2014年4月1日から 2015年3月31日まで
③ 営業活動による キャッシュ・フロー	822	585	1,475
投資活動による キャッシュ・フロー	△345	△479	△926
財務活動による キャッシュ・フロー	△253	△506	△174
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△19	△1	111
現金及び現金同等物の 増減額(△減少額)	204	△400	486
現金及び現金同等物の 期首残高	1,830	2,316	1,830
現金及び現金同等物の 期末残高	2,034	1,915	2,316

*百万円未満は切り捨て

Check Point

② 営業外収益／営業外費用

前第2四半期連結累計期間 為替差益23百万円
当第2四半期連結累計期間 為替差損14百万円

③ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益の減少。
前第2四半期連結累計期間 651百万円
当第2四半期連結累計期間 427百万円

国内の主要な事業所

(2015年9月30日現在)

本 社

京都府京田辺市薪北町田13

京田辺工場

京都府京田辺市薪北町田13

宇治田原工場

京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14

熊谷営業所

埼玉県熊谷市桜木町2-88

浜松営業所

浜松市中区高丘西3-12-3 1階

名古屋営業所

名古屋市長東区高社2-127 1F

京都営業所

京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14

岡山営業所

岡山市北区辰巳22-103 TCKビル

熊本営業所

熊本市東区長嶺南1-1-7



本社



京田辺工場



宇治田原工場

関連会社

(2015年9月30日現在)

① ニチダイフィルタ株式会社

京都府綴喜郡宇治田原町禪定寺塩谷14

② NICHIDAI (THAILAND) LTD.

Amata Nakorn Industrial Estate Phase 8. 700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand

③ THAI SINTERED MESH CO., LTD.

Saha Group Industrial Park, 99/8 Moo 5, Tambol Pasak, Amphur Muang Lamphun 51000 Thailand

④ NICHIDAI U.S.A. CORPORATION

15630 E State Route 12 Unit 4, Findlay, OH, 45840-9743, USA

⑤ NICHIDAI ASIA CO., LTD.

Amata Nakorn Industrial Estate Phase 8. 700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakha Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand

● ネットシェイプ事業 ● アッセンブリ事業 ● フィルタ事業



会社概要

(2015年9月30日現在)

社名 (英文表記)	株式会社ニチダイ NICHIDAI CORPORATION
証券コード	6467
本社所在地	京都府京田辺市薪北町田 13
創業年月日	1959年5月5日
設立年月日	1967年5月1日
資本金	14億2,992万円
従業員数	369名(単独) 663名(連結)

役員

(2015年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員	古屋 元伸	
取締役執行役員	瀬川 秀実	営業本部長 NICHIDAI ASIA CO., LTD. 社長 NICHIDAI U.S.A. CORPORATION 社長
取締役執行役員	島崎 定	精密部品事業本部長 NICHIDAI (THAILAND) LTD. 社長
取締役執行役員	畑中 恵二	生産本部長、技術・開発本部長
取締役執行役員	辻 寛和	管理本部長、経営企画室長
取締役	岡 廣次郎	監査等委員(常勤)
社外取締役	西野 吉隆	監査等委員
社外取締役	真田 尚美	監査等委員

当社ホームページのご紹介

ニチダイへの理解を深めていただくために、ホームページをご活用ください。



<http://www.nichidai.jp/>

株式の状況

(2015年9月30日現在)

発行可能株式総数	15,500,000株
発行済株式の総数	9,053,300株
単元株式数	100株
株主数	2,442名

大株主

(2015年9月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
有限会社ジャスト	885,600	9.78%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	499,000	5.51%
田中克尚	497,688	5.49%
ニチダイ従業員持株会	482,444	5.32%
中棹知子	282,600	3.12%
古屋啓子	272,600	3.01%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	247,200	2.73%
株式会社三菱東京UFJ銀行	217,600	2.40%
京都中央信用金庫	180,000	1.98%
大阪中小企業投資育成株式会社	174,000	1.92%

所有者別分布

(2015年9月30日現在)



所有者別株式数分布

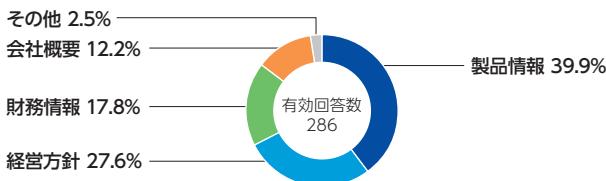
(2015年9月30日現在)



株主さま向けアンケート結果のお知らせ

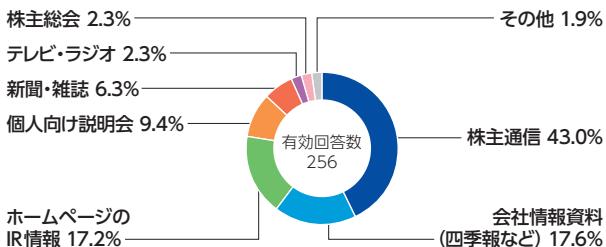
2015年6月に発行した株主通信(Vol.27)で実施したアンケートに対して、多くの株主さまからご回答、ご意見をいただきました。心から御礼申し上げます。お寄せいただきました貴重なご回答、ご意見は今後の事業活動、IR活動の参考にさせていただきます。下記に、アンケート結果のうち、いくつかをご紹介します。

当社についてもっと知りたい情報



株主通信を通じて知りたい情報は1位「製品情報」2位「経営方針」3位「財務情報」4位「会社概要」の結果となりました。

当社の充実すべきIR活動



充実すべきIR活動のトップとして、「株主通信」を挙げる株主さまが前回に比べて多くなっています。今後も皆さまにとって有用な情報の発信を目指していきます。

その他のご意見

- 日常生活のどのような部分にニチダイ製品が使われているのかわかりたい。フィルタ事業の製品使用例などが見たい。
- 表紙に従業員の方を掲載されていることで、どういった人が働いているのかがイメージできた。
- 写真やグラフの色使い、配列などが工夫されていて見やすかったが、情報量が少なく感じた。
- 新製品の開発や研究状況を教えてほしい。

Investor Information

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 期末 3月31日
中間 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の 三菱UFJ信託銀行株式会社
口座管理機関

同連絡先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL.0120-094-777(通話料無料)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

公告方法 電子公告
当社ホームページ(<http://www.nichidai.jp/>)にて掲載

単元株式数 100株

ご注意

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまのご満足を追求し、今後も業績情報の開示の充実に努めてまいります。この株主通信に対するご感想、ご意見をお寄せください。つきましては同封のアンケートハガキにご記入、ご投函いただきますようお願いいたします。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION
本社 TEL. (0774) 62-3481 (代)